年間授業計画　新様式

高等学校 令和5年度（２学年用）　教科　公民　科目　公共

教　科：　公民　　科　目：　公共　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　６組

教科担当者：１組：井上　）　２組：老田　）　（３組：井上　）　（４組：井上　）　（５組：石川　）　（６組：石川　）

使用教科書：（ 教育図書　高等学校　公共 ）

教科　公民　の目標：

【知識及び技能】 学習を通じて，現代社会の諸課題についての基本的な知識を身につけるとともに，課題の解決のために主体的に考え判断する能力を身に付けることを目指す。

【思考力、判断力、表現力等】 社会課題に対する見方，考え方はさまざまあり多面的であることを重視し，その複数性の中で生徒が自分で考え対話を通じて，合意形成を目指す，公共的存在としての能力を養うことにとくに重点を置く。

【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな社会問題を身近な話題に引き付けて考えるテーマ学習を豊富に設定し、主体的，対話的な授業を通し，生徒が社会参画者であることの自覚を深めることを目標とする。

科目　公共　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方について

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第１章　公共の扉 ［１　公共と人］ １　人は一人では生きられない ２　ひとはどのようにつながるのか ３　自由と正義の実現を目指して ４　対話から生まれる公共 ５　日本の公共思想 【知識及び技能】 抽象的な概念を，生徒が実感できる具体的な事象に落とし込んで理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 公共的空間とはどのような空間か自分の体験や具体的な事例に基づき思考させる。	①私たちが社会を営む公共的な存在であるのはなぜなのか。社会の中で分断や差別が怒るのはなぜか。 ②人と人が行う「交換」について考える。 ③理想の社会の在り方を考えた思想家たちを知る。 ④人間の重要な能力である対話について考える。 ⑤日本社会において公共性はどのように息づいているか。	【知識及び技能】 人間は個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに対話を通して互いの立場を理解し高め合う存在であることを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 公共的な空間と人間の関わり，個人の尊厳と自主・自律，人間と社会の多様性などに着目して，社会に参画する自立した主体とは何かを思考する。	○	○		9
	定期考査			○	○		1
	［２公共と倫理］ １　功利主義と義務論 ２　水俣病を考える ３　地球温暖化問題 ４　誰が医療を支えるのか 【知識及び技能】 公害や地球温暖化により，どのような問題が起こっているか，またこれを解決するために行われてい取り組みについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 功利主義と義務論の思想を，水俣病の問題、地球温暖化問題にあてはめて考えさせる。	①3人の哲学者の思想を追い、倫理について考える。 ②公害問題は今の私たちの社会に何を問いかけているのか。 ③地球温暖化の問題に対して私たちはどう行動すべきか。 ④一人一人の病気やけがの治療にかかるお金は、みんなの支え合いでまかなうべきか。	【知識及び技能】 ①功利主義と義務論の相違について理解できている。 ②経済成長と公害の相反関係について理解している。 ③温暖化の原因について理解できている。 温暖化防止のための取り組みについて理解している。 ④医療費が年々増加している理由について理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ①功利主義の課題をどう克服するか質的功利主義などを手掛かりに思考している。 ②・多数派の利益と少数派の犠牲という功利主義の問題点について思考し表現している。	○	○		13
	［３　公共の基本原理］ １　生徒会予算をどう分配するか ２　意見が分かれたときにどう決めるか ３民主政治の歴史 ４－１　日本国憲法の三つの原理 ４－２　基本的人権の尊重 　　平等・自由・義務 ５－１　大学入試と男女差別 ５－２　なぜ女性医師が日本では少ないのか ６　　表現の自由とヘイトスピーチ 【知識及び技能】 意思決定方法にはさまざまな方法があることを学び，民主主義の基本的な仕組みを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 立憲主義の意義について考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 自らが共同体のメンバーであり，政治的主体であるという自覚をもたせる。	①公正に配分するにはどうすればよいだろうか。 ②意見が対立したとき、どのように結論を出すのが公平だろうか。 ③民主政治の基本的理論はどのようなものか。 ④日本国憲法の三つの基本原理を通して考える。 ⑤自由や平等などの基本的な原理を理解しよう。 ⑥格差はどのように解消していくべききか。 ⑦ヘイトスピーチと表現の自由はどう関係しているのか考える。	【知識及び技能】 ①生徒会運営を通じて，政治の意思決定や合意形成の方法など民主主義社会におけるさまざまな仕組みを理解している。 ②社会契約説，自然権，三権分立など民主政治の重要概念を理解している。 ③国民主権，基本的人権の尊重，平和主義，憲法の３つの基本原理について理解している。 ④憲法改正の手続きを理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ①公共的な観点から，表内の選択肢について自らの考えを表現している。また反論に対して，自らの考えを表現している。 ②民主主義のさまざまな制度がなぜ必要なのか，表現できている。多数決の弊害（少数派の抑圧）をどのように回避できるか思考している。 ③権利の衝突に際し「公共の福祉」の概念が，どのような役割を果たすか思考している。 【学びに向かう力、人間性等】 相手の意見を聞き，複数の選択肢を横断し，最適な解を模索している	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

	第2章　現代社会の諸課題 ［１　法］ １　　法と社会 ２－１　多様な契約 ２－２　消費者の権利と責任 ３－１　日本の司法制度 ３－２　国民の司法参加 【知識及び技能】 法に関わるシステムの下で活動するために必要な知識，技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，その主題解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，公共的空間に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深める。	①道徳と法はどのような関係にあるか。 ②契約にはどのような権利と義務が発生するか。 ③消費者はどのような法律に守られ、どのような責任があるか。 ④日本の裁判制度はどのような仕組みになっているか。 ⑤司法参加のしくみを知ろう。	【知識及び技能】 ①日本の法体系，法の分類，法の対象について理解している。 ②契約が当事者の同意により，成立することを理解している。 ③消費者の権利と自己責任について理解している。 ④三権分立における司法の役割を理解している。 ⑤刑事と民事裁判がそれぞれ誰が何を争い，判決が何を目的にしているのか，違いを理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ①よりよい社会の実現のために法がどのような機能を果たしているか表現している。 ②男女平等における積極的差別是正措置の是非について，現在の日本の状況を理解し，自らの意見を表現している。 ③企業と消費者の関係について理解し，なぜ消費者を守る法や組織が必要なのか，説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 18歳成年について自らが近く持つ権利と，責任について自覚を深めている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
２学期	［２　政治］ １－１　選挙と政治参加 １－２　公正な世論の形成 ２－１　国会と内閣 ２－２　地方自治 ３　　国家主権と領土問題 ４－１　安全保障と防衛 ４－２　21世紀の世界情勢 ５　　国際社会と日本 【知識及び技能】 法に関わるシステムの下で活動するために必要な知識，技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，その主題解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現できるようにする。	①政治参加するためにどのような仕組みがあるのか。 ②政党は何のためにあるのか。 ③国会と内閣は、どのような関係にあるのか。 ④地方自治の「自治」はどのような仕組みで行われているか。 ⑤国家間の争いを解決するためにどのような仕組みがあるのか。 ⑥自衛隊と憲法はどのような関係にあるのか。 ⑦テロや紛争はなぜなくならないのか。 ⑧国連が定めたSDGｓとはどのような取り組みか。	【知識及び技能】 ①民主主義とは，国民に主権があるという基本的な考え方に基づき，これを実現するためにさまざまな選挙制度や法律があることを理解し，その内容を読み取っている。 ②政党政治がなぜ必要とされるのか，表現の自由，知る権利は政党政治とどう関係しているのかを理解している。 ③国会の仕組みや立法手続き，行政組織，三権の均衡など基礎的な知識を習得している。 ④二元代表制，直接請求権など国政とは異なる地方自治の直接民主主義の仕組みを理解している。 ⑤・領域，国民，主権の国家の三要件について正確に理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ①個々の選挙制度についての利点と難点を，民意をよりよく反映させるという観点から説明することができる。 ②政治的無関心を防ぐために，どのような意識が重要か，主権者として思考している。 ③国会と内閣および行政組織の関係を理解したうえで，官僚政治の問題点，政治主導に転換した現在の課題点について思考し表現している。	○	○		8
	［３　経済］ １　　職業選択 ２－１　雇用と労働 ２－２　労働者の権利 【知識及び技能】 法に関わるシステムの下で活動するために必要な知識，技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，その主題解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，公共的空間に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深める。	①仕事を通じて何を実現しようとしているのか。 ②正社員と非正規社員にはどのような差があるのか。 ③労働組合は何のためにあるのか。	【知識及び技能】 ①日本経済の強みと言われてきた独自の雇用システムについて理解している。 ②労働者の権利と，それを守るための法や機関について理解している。 ③労働問題に直面した場合，どのような手段を取ることができるか具体的に理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ①職業のあり方が産業構造の変化とともに変わることを念頭に，自らが就労する近い将来を見据えて，働くことの意味と価値を表現できる。 ②労働者の権利を守ることがなぜ重要なのかということを理解し，労働組合の衰退について思考している。 【学びに向かう力、人間性等】 働くことの意味について思考し，経済的主体としての自覚を深めている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

3学期	［3　経済］ ３－１　財政の役割 ３－２　租税のしくみと国債 ４　　少子化と社会保障 ５　　市場経済の役割と限界 ６－１　金融のはたらき ６－２　日本銀行と金融政策 ７－１　グローバル化と経済統合 ７－２　格差是正と多文化主義 【知識及び技能】 財政が格差の是正，公共財の提供，景気の安定など市場経済が招く問題への対処を目的に行われていることを理解させる。歳入・歳出，予算の編成など財政についての知識を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 文化や宗教の多様性を尊重する多文化主義の考え方を学び，相互理解と寛容の態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 少子高齢化がさらに進む近い将来に，自らが社会保障費の負担者となることを考慮し，この問題を考えさせる。	①政府が財政という経済活動を行うのは何のためか。 ②直接税と間接税のちがいは何か。 ③社会保障制度はどのような制度か。 ④物の値段はどのように決まるのか。 ⑤銀行はどんな役割を果たしているのか。 ⑦グローバル化によりどのような問題が起こっているか。	【知識及び技能】 ①財政の３つの役割についての知識を習得している。 ②直接税，間接税の仕組みと公平性について知識を習得し，日本の税制の特徴を理解している。 ③日本の社会保障制度の基本的な枠組みと具体的な仕組みを理解している。 ④需給曲線を読み取り，価格が決定するメカニズムを理解している。 ⑤直接金融，間接金融の違いと，銀行，証券会社など金融機関の役割や日本銀行の役割を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ①税収と公債発行額の相関関係について注目し，必要な財源を確保するためにどのような政策が望ましいか思考している。 ②日本の「国民皆保険」，「国民皆年金」の考え方を理解したうえで，持続可能な社会保障制度と財源不足のジレンマについて考え表現している。 ③日銀が現在行っている金融政策の内容と目的，その効果について表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 日本のさまざまな産業にとって自由貿易，保護貿易，グローバル化がどのような影響を与えるか，多面的に思考している。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1